様式第２－６号（第３関係）

肝炎治療受給者証（非代償性肝硬変を除くインターフェロンフリー治療）の交付申請に係る診断書（再治療）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな患者氏名 |  | 性別 | 生年月日（年齢） |
|  | 男・女 | 　　年　　　月　　　日生（満　　　歳） |
| 患者住所 | 〒　　　　－電話番号　（　　　　） |
| 診断年月 | 年　　　月 | 依頼医（あれば記載する。) | 医療機関名医師名 |
| 過去の治療歴 | 該当する項目にチェックする。１　インターフェロン治療歴 * インターフェロン治療歴あり

（チェックした場合、これまでの治療内容について該当項目を〇で囲む。）ア．ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法（中止・再燃・無効）　 イ．ペグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害剤（薬剤名：　　　　　　　　　　　　　）３剤併用療法（中止・再燃・無効）ウ．上記以外の治療（中止・再燃・無効） 具体的に記載：　　２　インターフェロンフリー治療歴* インターフェロンフリー治療歴あり

（薬剤名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（中止・再燃・無効） |
| 検査所見 | 今回の治療開始前の所見を記入する。1　C型肝炎ウイルスマーカー（検査日：　　　　　年　　　月　　　日）（該当するものを○で囲む。）(1)HCV－RNA定量 LogIU/ｍL（TaqMan・AccuGene）(2)ウイルス型　セログループ1・セログループ2・その他（　　　　　　　）　　　　　又は　ジェノタイプ（あれば記載する。）1b・2a・2b・その他（　　　　　　　）2 血液検査（検査日：　　　　　年　　　月　　　日）　　　AST　　　　　　　　IU／L　　　　　白血球数　　　　　　　　　／mm3　　　ALT　　　　　　　　IU／L　　　　　ヘモグロビン濃度　　　　　g／dL　　　血小板数　 　　　　×10４／mm3　　 eGFR　　　　　　 　　　　mL／分／1.73ｍ23 画像診断及び肝生検などの所見（具体的に記載）（検査日：　　　　　年　　　月　　　日）所見：4 （肝硬変症の場合）Child-Pugh分類　　A・B・C（該当するものを○で囲む。） |
| 診　　断 | （該当する番号を○で囲む。）1 慢性肝炎　　　（C型肝炎ウイルスによる）2 代償性肝硬変　（C型肝炎ウイルスによる）※Child-Pugh分類Aに限る。 |
| 本診断書作成時における肝がんの有無 |  １　有り　　　２　無し |
| 治療内容 | インターフェロンフリ－治療（薬剤名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）治療予定期間　　　　　週　（　　　　　年　　　月　～　　　　　年　　　月） |
| 本診断書を作成する医師 | インターフェロンフリー治療の再治療の場合、次のいずれかの項目にチェックがない場合は対象となりません。□　肝疾患診療連携拠点病院に常勤する日本肝臓学会肝臓専門医　□　他の日本肝臓学会肝臓専門医又は日本消化器病学会専門医で、別紙意見書を添付している医師 |
| 治療上の問題点等 |  |
| 　上記のとおり、以前とは異なるインターフェロンフリー治療薬による再治療を行う必要があると診断します。医療機関名及び所在地　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記載年月日　　　　　　年　　月　　日　専門医　氏名 |

※１　診断書は、記載日から起算して３か月以内のものが有効となること。

　２　記載日前６か月以内（ただし、インターフェロンフリー治療中の場合は治療開始時）の資料に基づいて記載すること。

　３　肝疾患診療支援ネットワーク体制以外の専門医療機関の肝臓専門医の診断書にあっては、当該医療機関で治療する患者についてのみ作成すること。

　４　記入漏れのある場合は、認定できないことがあるので、注意すること